

仙台市議会議員 市民フォーラム仙台（青葉区）

村上かずひこ 市政報告

発行：仙台市民フォーラム 青葉区国分町3-7-1 編集：村上かずひこ



Greeting

持続可能な未来と地域課題の解決に向けて行った質問についてまとめました。日々の生活の中で感じる疑問や、少しでも市民の暮らしが豊かになるために、どうすれば良いのかを考え、質問をさせていただきました。私たちが共に過ごす仙台市が、より良い環境で、みんなが安心して暮らせる場所であるよう、少しでもお手伝いできることを願っています。

仙台市議会議員（青葉区）村上かずひこ



今回は以下の3点について質問しました。

1. 新庁舎 ZEB^{*}化に向けた新技術の提案
2. 仙台緑彩館の活用の提案
3. 4病院再編構想の懸念事項の確認

※ZEB（ゼブ）は「ネット・ゼロ・エネルギー・ビル」の略で、省エネと創エネにより消費エネルギーを実質ゼロにする建物です。光熱費削減や環境負荷低減のメリットがあり、脱炭素やSDGsの観点から導入が進んでいます。



市民フォーラム仙台

持続可能で活力ある地域社会の実現に向けた重点政策

市民フォーラム仙台では113に渡る新年度予算に係る要望書を市長に提出しました。

- | | |
|------------------|--------------|
| — こども達を守る教育・環境整備 | — 医療体制の強化 |
| — 次世代育成の振興 | — 暮らしの安全 |
| — 地元企業のさらなる活性化 | — 都市インフラの整備 |
| — 農林業の振興 | — 災害に強いまちづくり |
| — 文化・スポーツ・観光の振興 | — 効率的な行財政運営 |
| — 地域福祉の充実 | — 市役所職員の意識改革 |

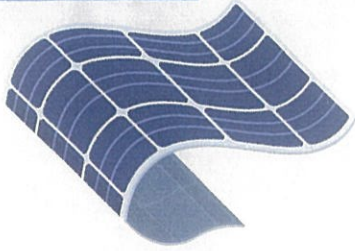
皆様の声を市政に生かすため、ご意見をぜひお聞かせください。

皆様の声が、より良いまちづくりにつながります。暮らしの中で感じること、まちの未来への想いなど、どんなことでも構いません。ぜひご意見をお聞かせください。一つひとつの声を大切に、市政に生かしてまいります。



お問合せ FAX:022-342-1281

持続可能な未来と地域課題の解決に向けて



ペロブスカイト型太陽光発電とは

新しいタイプの太陽電池のことです。

従来のシリコン製の太陽電池よりも軽くて薄く、作りやすいのが特徴です。

POINT

軽くて薄い

ガラスや布、ビルの壁や窓にも貼れる

安く作れる

シリコンより簡単な製造方法でコストダウン

発電効率が低い

進化中で、シリコンに匹敵する性能も



来年度はぜひ緑彩館南側で青葉消防団の消防特別訓練を実施したいと希望しました。

1. ペロブスカイト型太陽光発電の導入に関する質問

ペロブスカイト型太陽光発電の導入について、次世代型の太陽光発電技術であるペロブスカイトの特徴やメリットを説明しました。この技術は薄くて軽量、柔軟で折り曲げが可能なため、設置が難しい場所にも対応でき、脱炭素社会実現に貢献すると期待されています。また、ペロブスカイトの主な原材料であるヨウ素は国内で豊富に生産されており、エネルギー安定供給にも貢献することを強調しました。政府はこの技術の普及を進めており、来年度の予算で自治体への設置補助金が決まっていることを紹介しました。

仙台市の回答

環境局長：実用化が進んでいるペロブスカイト発電技術について、本庁舎への導入が可能であれば前向きに検討したいと述べました。また、市有施設への導入についても実用化の状況を見て積極的に取り入れていく方針を示しました。

高橋副市長：ゼロカーボンシティ実現に向けて最新技術の導入が重要だとし、ペロブスカイトの技術が実証実験段階であり、量産体制や耐久性、コストの課題があることを指摘しました。そのため、新本庁舎への導入については、実用化の進展を踏まえ、検討する必要があると述べました。

2. 消防団特別点検の開催場所に関する質問

毎年9月の第1週に行われる消防団特別点検について会場変更の提案をしました。青葉区では、台風の影響で訓練が中止となり、今年は披露する場がなかったことを述べました。訓練が行われる場所として、仙台緑彩館南側の広さが十分であり、この場所で実施可能かどうかを尋ねました。

仙台市の回答

建設局長：青葉山公園追廻地区での消防団特別点検の実施が可能であると述べ、青葉消防団からの申出に応じて、指定管理者と協力して場所や実施方法を調整することを約束しました。

消防局長：消防団の特別点検は日頃の訓練成果を地域の方々に披露する機会であり、青葉消防団の通常の開催場所である広瀬川の牛越緑地は、台風の影響で今年度は中止となったことを説明しました。青山公園追廻地区は広く舗装部分も多く、天候に左右されにくいと、会場として適していると認識しており、青葉消防団との協議を進め、適切な開催場所の確保に努めると述べました。

3. 宮城県の4病院再編構想に関する質問

仙台市は宮城県と5回にわたって会合を持ち、その中で健康福祉局長は3回出席しました。委員は、これまでの協議の印象について質問し、県からの再編に関する明確な根拠が示されていないことを指摘しました。また、精神医療や災害時医療、病院移転による地域への影響について十分な説明が得られていないことを懸念しています。

仙台市の回答

健康福祉局長：再編の必要性や妥当性に関して、県から十分な説明が得られていないと感じていると述べました。また、住民目線での認識に乖離があることが議論の進展を妨げていると認識しています。救急搬送件数に関するシミュレーションの前提条件については進展があったとし、引き続き懸念や課題について議論を深め、県に適切な対応を求める方針を示しました。

市長：4病院の再編に関して、地域住民の理解を得るためには県が主体的に責任を持って進めるべきだと述べました。また、県に対して、救急や精神医療、地域への影響に関する具体的な懸念を示し、説明や対応を求めてきたが、十分な回答が得られていないことに対して不満を表明しました。市民を含む地域住民に必要な医療が確保されることが最も重要であり、県に対して責任ある対応を求めるとともに、今後も必要な対応を行うと述べました。



精神医療センターの移転が不可能であると考え、協議が打ち切られた場合には反論できるような回答を準備し、待機しておくことを求めました。